



独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所

National Institute of Special Needs Education, Japan



国立特別支援教育総合研究所

要覧

2020

理事長あいさつ

国立特別支援教育総合研究所は、我が国における障害のある子供の教育の充実・発展に寄与するため、昭和46年に文部省直轄の研究所（国立特殊教育総合研究所）として設置されました。その後、平成13年に独立行政法人に移行し、平成19年には「国立特別支援教育総合研究所」と名称変更して、現在に至っています。

障害のある子供の教育については、平成19年度から「特別支援教育」に移行し、特別支援学校や特別支援学級で学ぶ子供や通級による指導を受ける子供に加え、小・中学校等の通常の学級で学ぶ発達障害等の子供も対象となりました。

平成26年1月には、我が国も障害者権利条約を批准しました。そこで提唱されているインクルーシブ教育システムの構築に向けて、特別支援教育を一層推進していくことが重要です。

こうした状況の中、本研究所は、平成28年度から第4期中期目標期間に入り、今年度は最終年度に当たります。変化の激しい時代の中で、本研究所は、特別支援教育の推進のため、気持ちを新たに種々の事業に取り組んでいく所存です。

基幹研究としての横断的研究や障害種別研究、また、地域実践研究を実施していくとともに、特に、これまでの研究成果の教育現場等における活用を重視して、小学校や中学校等にも、本研究所を知っていただけるよう、一層、工夫していくこととしています。

研修事業に関しては、令和2年4月より、これまでの講義配信システムをインターネットによる講義配信「NISE 学びラボ～特別支援教育 eラーニング～」としてリニューアルしました。引き続き、小・中学校の学習指導要領の解説にあるように各教科等の学びの過程における困難さに対する指導の工夫についての講義配信コンテンツの作成を進めるとともに、既存の講義配信の見直しを行い、内容の一層の充実に努める予定です。

また、「難聴児の早期支援に向けた保健・医療・福祉・教育の連携プロジェクト報告（令和元年6月）」を受け、難聴児の早期支援のための保健・医療・福祉及び教育の連携促進や聾学校の乳幼児教育相談担当者の専門性向上を目的として全国研修会を実施することとしています。

さらに、文部科学省と厚生労働省の連携による「家庭と教育と福祉の連携『トライアングル』プロジェクト報告（平成30年3月）」や「文部科学省障害者活躍推進プラン（発達障害等のある子供達の学びを支える～共生に向けた「学び」の質の向上プラン～）（平成31年4月）」を踏まえ、教育と福祉が連携・協働した発達障害支援に係る人材育成のための研修コアカリキュラム案(令和元年度作成)について、6自治体（5県1市）において実践的検証を行い、全国の自治体に参考となる研修モデルを提案していく予定です。

インクルーシブ教育システム推進センターにおいては、5年間の地域実践研究の集大成を図るとともに、2つのテーマを取り上げ、今年度も地域実践研究員を受け入れ、地域の実情に応じたインクルーシブ教育システムの確立に向けて、研究所の職員とともに研究活動を進めることとしています。長期派遣と短期派遣を合わせて、13名の地域実践研究員が、本研究所において、それぞれの地域の実情に応じたテーマに基づき、インクルーシブ教育システムの確立に向けて、研究所の職員と一緒に研究活動を進めることとしています。

特別支援教育を推進していくため、関係諸機関との連携協力にも努め、研究所の活動の更なる充実を図っていきたく考えています。

今後とも、国民の皆様をはじめ、関係各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げて、挨拶とさせていただきます。

令和2年5月

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所（NISE）

理事長 穴戸和成

目次

理事長あいさつ	1	NISE の情報収集・発信	17
NISE のミッション	2	インクルーシブ教育システム構築に向けた支援	21
NISE のビジョン	2	関係機関等との連携・協力	26
NISE の沿革	2	講義配信「NISE 学びラボ」コンテンツ一覧	27
NISE の組織	3	最新の研究成果物リスト（研究成果報告書以外）	31
NISE の研究者	5	NISE の財務・施設	33
NISE の研究活動	9	連絡先・交通案内	34
NISE の研修事業	15		

・本冊子における「NISE（ナイセ）」とは、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所のことを指します。

・本冊子の記載内容は、特に断りのない限り、令和2年5月1日現在のものです。

NISE のミッション（使命）※

我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして、国や地方公共団体等と連携・協力しつつ、特別支援教育を取り巻く国内外の情勢の変化も踏まえた国の政策課題や教育現場の課題に柔軟かつ迅速に対応する業務運営を行い、もって障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育を実現し、インクルーシブ教育システムの構築に向けて貢献することをミッション（使命）としています。

NISE のビジョン（ミッションを達成するための方向性）※

1. 研究活動

国の特別支援教育政策立案及び施策の推進等に寄与する研究及びその成果の普及

2. 研修事業

各都道府県等における特別支援教育政策や教育実践等の推進に寄与する指導者の育成や資質向上に係る支援

3. 情報収集・情報発信・理解啓発

特別支援教育に関する情報収集・情報発信及び関係者の理解促進、効率的、効果的な情報提供

4. インクルーシブ教育システム構築への寄与

インクルーシブ教育システム推進センターの設置による、各都道府県・市町村が直面する課題の解決に寄与する取組等の実施

※上記ミッション、ビジョンは平成28年3月に文部科学大臣から指示されたNISEの第4期中期目標において示されたものです。

NISE の沿革

昭和46年（1971年）10月

国立特殊教育総合研究所が発足

平成13年（2001年）4月

独立行政法人国立特殊教育総合研究所が発足

平成16年（2004年）4月

組織改編により企画部、教育支援研究部、教育研修情報部、教育相談センター設置

平成18年（2006年）5月

教育相談センターを教育相談部に改組

平成19年（2007年）4月

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所に名称変更

平成20年（2008年）4月

教育支援研究部を教育支援部に名称変更、発達障害教育情報センター設置、研究班体制を開始

平成23年（2011年）4月

組織改編により企画部、教育支援部、教育相談部、教育研修・事業部、教育情報部設置

平成24年（2012年）4月

教育相談部を教育支援部に統合

平成28年（2016年）4月

総務部、研究企画部、研修事業部、情報・支援部、インクルーシブ教育システム推進センターの4部1センター制に組織改編

平成29年（2017年）4月

総務部、研究企画部、研修事業部、情報・支援部、発達障害教育推進センター、インクルーシブ教育システム推進センターの4部2センター制に組織改編



NISEの組織

役員

部長・センター長



理事長 穴戸 和成 理事 梅澤 敦 監事 浅野 良一 監事 中家 華江 研究企画部長 棟方 哲弥 研修事業部長 澤田 真弓 情報・支援部長 横倉 久 発達障害教育推進センター長 笹森 洋樹 インクルーシブ教育システム推進センター長 星 祐子 総務部長 池田三喜男



役員・職員数

役員	2(2)
研究職	40
一般職	30
合計	72(2)

() 内は非常勤で外数
(令和2年5月1日現在)

研究企画部

NISEの研究に関する総合的な企画立案及び調整、障害のある子供の教育に関する政策課題、関係法令及び行財政施策に関する調査・分析などの業務を行っています。

また、NISEの業務に関する評価の企画立案についての業務を行っています。

研修事業部

NISEが行う研修事業の企画立案、研修プログラムの開発、研修修了者のフォローアップ、インターネットによる講義配信コンテンツの作成及び提供による教員等の資質向上支援、免許法認定通信教育などの業務を行っています。

情報・支援部

特別支援教育に関する情報の収集・蓄積・提供や理解啓発活動（他の部・センターの所掌に関するものを除く。）、「特別支援教育教材ポータルサイト」を中心に、特別支援教育に関する教材及び教育支援機器に関する情報・資料の収集・提供や評価・活用及び関係者の支援などの業務を行っています。

学校教育支援・連携として、特別支援教育の理解啓発、園・学校長会や関係団体等との連携協力及び連絡調整、特別支援学校や幼稚園、小学校、中学校、高等学校等への支援及び連携協力、都道府県等の教育センター、特別支援教育センター等との連携協力、日本人学校等支援などの業務を行っています。

また、NISEが主催するセミナーの企画立案及び実施、保護者団体等との連携事業の企画立案及び実施、医療・福祉・労働関係機関等との連携協力などの業務を行っています。

発達障害教育推進センター

発達障害教育に関する最新の情報について、「発達障害教育推進センター」WEBサイトや展示室の公開等を通じて、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教員や保護者をはじめとして幅広く国民に提供し、理解啓発を一層推進するとともに、教育現場で必要な基本的な知識と指導・支援に関する具体的な情報を提供しています。また、発達障害教育に関する研究成果の普及や教育実践セミナーの開催、教育委員会等との共催による地域での理解啓発事業等の実施を通じて、発達障害教育に関する理解推進と実践的な指導力の向上を図っています。

インクルーシブ教育システム推進センター

インクルーシブ教育システム構築に向けて、地域や学校が抱える課題を研究テーマとして設定し、NISEと地域が協働して実施する「地域実践研究事業」や、国際的動向や諸外国の最新情報の収集及び海外との研究交流を行う「国際事業」、さらに、インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルDB）による「情報発信・相談支援事業」などの業務を行っています。

総務部

NISEの中期計画及び年度計画の策定、広報、職員の人事、予算・決算、施設・設備管理や各部の業務支援などの業務を行っています。

運営委員

(令和2年4月1日現在)

安藤 隆男	日本特殊教育学会理事長	西垣 昌欣	筑波大学附属久里浜特別支援学校長
石原 保志	国立大学法人筑波技術大学長	野口 智明	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター 研究企画部長
市川 宏伸	一般社団法人日本自閉症協会長	野澤 和弘	一般社団法人スローコミュニケーション代表 (植草学園大学客員教授)
市川 裕二	全国特別支援学校長会副会長(東京都立あきる野学園校長)	笛木 啓介	全日本中学校長会生徒指導部長(大田区立大森第三中学校長)
川崎 勝久	全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会副会長 (新宿区立花園小学校・幼稚園園長)	松為 信雄	東京通信大学教授
喜多 好一	全国連合小学校長会特別支援教育委員会委員長 (江東区立豊洲北小学校長)	三浦 友也	国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局理療教育・就労支援部長
桐谷 次郎	神奈川県教育委員会教育長	箕輪 恵美	全国国公立幼稚園・こども園長会 副会長 (中央区立有馬幼稚園園長)
貞廣 斎子	千葉大学大学院教育学研究科教授	宮崎 英憲	全国特別支援教育推進連盟理事長
白戸 爾	青森県総合学校教育センター所長	茂木 裕之	全国高等学校長協会特別支援学校部会理事長 (東京都立青島特別支援学校長)
滝 充	国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター客員研究員		
新倉 聡	横須賀市教育委員会教育長		

NISEの研究者

研究企画部

名前	役職、担当	専門分野	キーワード
研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等			
棟方 哲弥	(兼) 研究企画部長 上席総括研究員 (総合研究推進担当、 総合研究計画担当)	教育工学	アシスティブ・テクノロジー、教材・教具開発、 国際比較
	特別なニーズのある子供の教材研究 (ICT を含む) 学校卒業後における障害のある人の学びに関する施策の動向 障害者権利条約実施の諸外国の動向		
金子 健	上席総括研究員 (評価担当)	視覚障害	自立活動、触覚教材、乳幼児支援
	視覚に障害のある子供の触覚活用や空間概念形成 3D プリンターによる立体教材等の触覚教材の作成と活用 弱視用拡大教科書・拡大教材の作成と活用 乳幼児期の視覚障害児に対する支援		
山本 晃	総括研究員 (総合研究推進担当)	聴覚障害	自立活動、言語指導、授業研究
	聴覚障害教育全般についての研究 聴覚障害児の言語指導、感情への気づきに関する研究		
吉川 知夫	総括研究員 (総合研究計画担当)	肢体不自由、言語・コミュニ ケーション障害	自立活動、授業研究、拡大・代替コミュニケーション
	肢体不自由及び重度・重複障害の子供の言語・コミュニケーション評価と支援 授業改善、自立活動の個別の指導計画作成		
海津亜希子	主任研究員 (評価担当)	発達障害 (特に学習障害)	アセスメント、R T I、個別の指導計画
	通常の学級における、LD 等、学習につまずきのある子供の早期把握、早期支援 多層指導モデル MIM (ミム) を通じた地域ワイドの研究		
平沼 源志	研究員 (総合研究計画担当)	知的障害、発達障害	特別支援学級、教師研究、アダプテッド・スポーツ
	特別支援学級担任の専門性、アダプテッド・スポーツの役割		

研修事業部

名前	役職、担当	専門分野	キーワード
研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等			
澤田 真弓	(兼) 研修事業部長 上席総括研究員 (資質向上支援ライン)	視覚障害	自立活動、教科指導、点字指導
	視覚障害教育全般 自立活動、教科指導 (国語)、点字指導 (中途視覚障害の指導を含む) 拡大教科書 (拡大教材作成)、デジタル教科書		
牧野 泰美	上席総括研究員 (研修企画ライン)	聴覚・言語障害、コミュニ ケーション障害	言語指導、言語獲得、コミュニケーション関係、 吃音、自己意識
	「ことばの教室」の機能・役割と担当教師の専門性 言語機能とその障害 子供と教師のコミュニケーション関係の構築 子供の言語発達への支援 吃音のある子供の自己肯定感やレジリエンスへの支援		
齊藤由美子	総括研究員 (資質向上支援ライン)	重複障害	幼児期の教育支援、セルフ・ディターミネーション、 本人中心の計画
	重複障害のある子供の教育 本人中心の計画や自己決定 様々なニーズのある子供が学ぶ学校づくりと交流及び共同学習 米国における教育		
宇野宏之祐	総括研究員 (研修企画ライン)	聴覚障害、教育行政	聴覚口話、手話、就学、早期教育・療育、 保護者支援、障害者雇用
	聴覚障害のある子供に対する早期からの指導や支援に関すること 言葉の発達に関すること 就学や保護者との合意形成に関すること、障害者の就労促進に関すること 教育行政や施策に関すること		

小澤 至賢	主任研究員（資質向上支援ライン）	重複障害	コンサルテーション、地域支援システム
	重複障害のある子供の教育、学校コンサルテーション、学校評価、学校マネジメント、センター的機能、スクールクラスター		
青木 高光	主任研究員（研修企画ライン）	知的障害、自閉症	拡大・代替コミュニケーション、教材・教具開発
	視覚的な手段や機器を用いたコミュニケーション支援 ICTを活用した学習や生活の支援方法		
村井敬太郎	主任研究員（研修企画ライン）	知的障害	体育、自立活動、授業づくり
	知的障害教育論、知的障害のある子供の身体の動きと体育授業 知的障害教育における自立活動、個別の指導計画の作成と活用		
坂本 征之	主任研究員（研修企画ライン）	知的障害、発達障害	進路支援、地域移行支援、キャリア発達支援
	特別支援学校高等部や中学校卒業時の進路選択 特別支援学校のセンター的機能と地域生活における切れ目ない支援 障害のある児童生徒の卒業後を見据えたキャリア発達を支援する教育		
藤田 昌資	主任研究員（資質向上支援ライン）	病弱・身体虚弱、知的障害、 発達障害	精神疾患及び心身症（心の病気）、医療的ケア、 学校運営改善
	精神疾患及び心身症（心の病気）のある子供の教育的支援・配慮 知的障害・発達障害のある子供、病気のある子供の学習活動を支える学校の環境整備や体制づくり		
若林 上総	主任研究員（資質向上支援ライン）	発達障害、知的障害	応用行動分析、高等学校段階、校内体制整備
	応用行動分析の知見を生かした高等学校段階の発達障害、知的障害生徒の指導・支援を研究 校内支援体制整備を進める枠組みとして積極的・予防的な生徒指導（Positive Behavior Support）の在り方を研究		

情報・支援部

名前	役職、担当	専門分野	キーワード
研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等			
横倉 久	(兼) 情報・支援部長 上席総括研究員（情報戦略担当、 学校教育支援・連携担当）	知的障害、聴覚障害	学校経営、教育課程、授業づくり
	学校経営全般 教育課程の編成・実施・評価 教科指導・授業づくり 保護者支援・生涯学習		
杉浦 徹	総括研究員（情報戦略担当）	肢体不自由	アシスティブ・テクノロジー、教材・教具開発
	支援機器や教材教具を活用した支援の在り方 コミュニケーション支援機器の製作及び製作研修会 コミュニケーションを促すおもちゃや簡単な工作の製作研修会 文房具や機器を活用した発達障害のある児童生徒の支援に関する研修会 疑似体験をベースにした「障害」に対する理解啓発及び人権学習のための研修会		
滑川 典宏	総括研究員（学校教育支援・連携担当）	言語障害	言語指導、自己効力感、校内支援
	ことばの教室に通う子供たちの主体的な学びを育む指導や支援 言語障害のある中学生への指導・支援の在り方、一人ひとりを大切にされた校内支援体制づくり		
伊藤 由美	主任研究員（学校教育支援・連携担当）	発達障害、情緒障害	教育相談、心理的サポート
	教育相談 通級による指導 発達障害のある子供への心理的サポート		
坂井 直樹	主任研究員（情報戦略担当）	知的障害、発達障害	地域支援、授業づくり、就学支援
	知的障害や自閉症のある子供の教材の工夫 特別支援学校、特別支援学級、通級による指導における児童生徒の実態に応じた授業づくり 就学前幼児の保護者に対する就学相談の在り方について 地域における特別支援教育の体制づくり		
土井 幸輝	主任研究員（情報戦略担当）	視覚障害、生活支援工学、 人間情報工学	アクセシブルデザイン、感覚代行
	アクセシブルデザインの学習を通じた共用品・共用サービスの重要性を学ぶ教育 視覚障害児のための感覚代行ツールに関する研究		
北川 貴章	主任研究員（学校教育支援・連携担当）	肢体不自由	自立活動、授業研究、教育課程
	身体の動きを中心とした自立活動の指導と授業研究 個別の指導計画の作成システム 肢体不自由児の障害特性に応じた教科指導及び重度・重複障害児の指導に関する授業研究		

発達障害教育推進センター

名前	役職、担当	専門分野	キーワード
	研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等		
笹森 洋樹	(兼) 発達障害教育推進センター長 上席総括研究員 (啓発・普及担当、 連携・支援担当)	発達障害、情緒障害	通級による指導、LD・ADHD・自閉症等、学校・教師 支援
	通級による指導、通常の学級における発達障害等のある児童生徒の指導・支援 不登校等の情緒障害のある児童生徒の支援 学校コンサルテーション、保護者支援		
井上 秀和	主任研究員 (啓発・普及担当)	発達障害、聴覚障害	高等学校教育、通級による指導、地域の支援体制
	高等学校における発達障害等のある生徒の指導・支援、高等学校における通級による指導 地域にある教育資源を生かした支援体制の構築		
廣島 慎一	主任研究員 (連携・支援担当)	発達障害、肢体不自由、 病弱・身体虚弱	教育相談、保護者対応、特別支援学校のセンター的 機能
	通級による指導の担当者の専門性の在り方について 子供の学びを支える保護者・学校・関係機関との連携		
竹村 洋子	主任研究員 (連携・支援担当)	発達障害、知的障害	教師－児童間相互作用、児童とのかかわりに対する 教師の評価、教師支援、連携
	通常の学級における発達障害等のある児童生徒への教育と支援 通級による指導、教師と保護者や関係機関等との連携		
玉木 宗久	主任研究員 (連携・支援担当)	発達障害	LD・ADHD・自閉症等、学習のつまずき、認知機能
	LD、ADHD、自閉症等の発達障害のある子供の学習のつまずきの特性、認知特性		
榎本 容子	主任研究員 (啓発・普及担当)	発達障害、職業リハビリテー ション	就労支援、移行支援、キャリア教育
	発達障害者等の就労・自立に当たっての課題、福祉・労働等の関係機関との連携 高等学校・大学等から雇用への移行支援 学童期から青年期までの発達段階に応じたキャリア教育教材・体験的プログラム開発		
西村 崇宏	研究員 (啓発・普及担当)	人間工学、視覚障害	ヒューマンインタフェース、アクセシビリティ
	ICT 機器のユーザビリティ 視覚障害と情報アクセシビリティ		

インクルーシブ教育システム推進センター

名前	役職、担当	専門分野	キーワード
	研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等		
星 祐子	(兼) インクルーシブ教育システム推進 センター長、上席総括研究員 (国際担当、情報発信・相談支援担当)	重複障害	盲ろう教育、教育相談、保護者支援
	視覚と聴覚の両方に障害のある盲ろうの子供たちの理解と指導 重複障害児の教育 視覚に障害のある子供の乳幼児期からの支援と教育 インクルーシブ教育システム構築の現状と課題		
久保山茂樹	上席総括研究員 (地域実践研究事業担当)	言語・コミュニケーション障害	子育て支援、幼稚園・認定こども園・保育所、 地域の支援システム
	言語発達の遅れがある子供とのかかわり ことばの教室の役割、幼稚園・認定こども園・保育所における特別支援教育 保護者への支援・保護者との協働、地域における早期からの支援システム 乳幼児健診における発達相談		
生駒 良雄	総括研究員 (国際担当)	教育工学	事例調査、支援施策、教具開発
	肢体不自由児の医学的理解		
大崎 博史	総括研究員 (情報発信・相談支援担当)	病弱・身体虚弱、知的障害、 肢体不自由	合理的配慮の提供、メタ認知、自立活動、 訪問教育
	合理的配慮の提供と特別支援教育を推進するための高等学校校内研修プログラムの開発研究 病弱教育、知的障害教育における自立活動の指導 教育と福祉、医療との連携促進研究 (放課後等デイサービス事業所、重症心身障害児者施設等) 訪問教育・病弱教育		

横尾 俊	総括研究員（地域実践研究事業担当）	知的障害	教育相談、聾・知的障害、イギリスの障害児教育制度
	知的障害教育論、知的障害教育における学習評価の在り方 イギリスの障害児教育制度と保護者との合意形成のプロセス		
土屋 忠之	主任研究員（地域実践研究事業担当）	病弱・身体虚弱	精神疾患・心身症、小児がん、病院内教育
	病弱教育論 病弱教育における授業論 精神疾患・心身症（心の病気）のある児童生徒への教育的支援		
涌井 恵	主任研究員（国際担当）	発達障害、知的障害	協同学習、社会的スキル、学びのユニバーサルデザイン
	知的障害のある子供の社会性の発達と指導 知的障害のアセスメントの理論と実際（行動観察編）、知的障害教育論 諸外国における障害のある子供の教育		
柳澤亜希子	主任研究員（国際担当）	自閉症	障害児・者のきょうだい支援、家族支援、 ペアレント・メンター
	自閉症のある児童生徒の家族支援 幼児期における自閉症児の指導と支援 自閉症のある児童生徒の自立活動の指導 自閉症のある子供の教育課程 諸外国における障害のある子供の教育		
小西 孝政	主任研究員（地域実践研究事業担当）	病弱・身体虚弱、視覚障害	筋疾患、地域支援
	筋ジストロフィー等の筋疾患のある児童生徒への教育活動の展開 小・中学校における病弱教育の推進		
神山 努	研究員（情報発信・相談支援担当）	知的障害、発達障害	行動分析、保護者支援、問題行動
	知的障害や発達障害のある子供の、特に問題行動に対する支援について行動分析学に基づく研究 行動分析学に基づく指導や支援に関する保護者支援や教員研修の研究		

特任研究員

名前	専門分野	キーワード
渥美 義賢	発達障害	情緒障害、児童青年精神医学、脳科学
大内 進	視覚障害	全盲児の学習指導、点字及び触知覚研究、イタリアの教育
李 熙馥	自閉症、発達障害	韓国、自閉症のある自己理解・他者理解、ナラティブ、発達
是永かな子	知的障害、発達障害	北欧、学校教育制度、歴史
千賀 愛	教育学、教育史	ドイツ、特別支援教育、インクルージョン、特別ニーズ教育、デューイ
鄭 仁豪	聴覚障害	聴覚障害児者の言語と認知発達に関する心理学的研究、世界における障害科学、世界の障害児教育
山中 冴子	比較教育、オーストラリア教育	オーストラリアにおけるトランジション支援、オーストラリアにおけるインクルーシブ教育
吉利 宗久	特別支援教育の学校制度	インクルーシブ教育、教育政策、アメリカの教育
渡邊 あや	教育学、教育社会学、比較国際教育学	フィンランド、教育制度、教育行政、教育政策、比較教育学

NISEの研究活動

… 研究体制 …

研究活動を組織的に行うために、各年度の研究計画を立案するとともに、進行管理等を行う研究チームと研究班を設けています。研究チームと研究班は、以下の5チームと10班で構成され、研究課題に応じたチーム、班を構成し研究を推進しています。

令和2年度研究チーム、研究班一覧

研究チーム		チーム代表	チーム副代表
各障害種別を通じて、国の重要な政策課題に対応する研究チーム	インクルーシブ教育システムに関する研究チーム (インクルーシブ教育システムチーム)	星 祐子	柳澤 亜希子
	特別支援教育における教育課程に関する研究チーム (教育課程チーム)	横倉 久	北川 貴章 若林 上総
インクルーシブ教育システムの構築に向けて地域や学校が直面する課題に対応する研究チーム	インクルーシブ教育システムの理解啓発に関する研究チーム (理解啓発チーム)	久保山 茂樹	伊藤 由美
	交流及び共同学習の充実に関する研究チーム (交流及び共同学習チーム)	牧野 泰美	坂井 直樹
	地域におけるインクルーシブ教育システムの推進と課題に関する研究～地域実践研究の5年間の取り組みから～チーム (地域実践の成果と課題チーム)	横尾 俊	—
研究班		班長	副班長
障害種別専門分野の課題に対応する研究班	視覚に障害のある子どもの特別支援教育に関する研究班(視覚班)	金子 健	土井 幸輝
	聴覚に障害のある子どもの特別支援教育に関する研究班(聴覚班)	山本 晃	宇野 宏之祐
	知的障害のある子どもの特別支援教育に関する研究班(知的班)	横尾 俊	涌井 恵
	肢体不自由のある子どもの特別支援教育に関する研究班(肢体不自由班)	吉川 知夫	北川 貴章
	病弱・身体虚弱等の子どもの特別支援教育に関する研究班(病弱班)	土屋 忠之	大崎 博史
	言語に障害のある子どもの特別支援教育に関する研究班(言語班)	滑川 典宏	久保山 茂樹
	自閉症のある子どもの特別支援教育に関する研究班(自閉症班)	柳澤 亜希子	棟方 哲弥
	発達障害(LD・ADHD・高機能自閉症等)のある子ども又は情緒障害のある子どもの特別支援教育に関する研究班(発達・情緒班)	井上 秀和	廣島 慎一 若林 上総
	重複障害のある子どもの特別支援教育に関する研究班(重複班)	齊藤 由美子	小澤 至賢
各障害種に共通する課題を研究する班	特別支援教育における教材・教具の活用に関する研究班(教材・教具班)	杉浦 徹	青木 高光

… 研究体系 ……………

研究は、以下の研究体系に基づき、戦略的かつ組織的に実施します。

研究区分	研究の性格（研究期間）
基幹研究	文部科学省との緊密な連携のもとに行う、国の特別支援教育政策の推進に寄与する研究 その内容等により、以下のとおり区分する。 ・横断的研究: 各障害種別を通じて、国の重要な政策課題の推進に対応した研究（原則 5 年間） ・障害種別研究: 各障害種における喫緊の課題に対応した研究（原則 2 年間）
地域実践研究	インクルーシブ教育システムの構築に向けて、地域や学校が直面する課題の解決のために地域と協働で実施する研究。メインテーマの下に、数本のサブテーマを設定（原則 2 年間）
外部資金研究	科学研究費補助金等の外部資金を獲得して行う研究
受託研究	外部からの委託を受けて行う研究

… 基幹研究 ……………

令和 2 年度に実施する基幹研究の概要は以下のとおりです。

令和 2 年度 研究課題一覧（基幹研究）

研究区分	研究課題名	研究チーム 研究班	研究代表者	研究期間
横断的研究	我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究－地域と学校での主体的取組を支援する「インクル COMPASS」の提案－	インクルーシブ教育システムチーム	星 祐子	平成 28～ 令和 2 年度
	特別支援教育における教育課程に関する総合的研究－新学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施に向けた現状と課題－	教育課程チーム	横倉 久	平成 28～ 令和 2 年度
障害種別研究	聴覚障害教育におけるセンター的機能の充実に関する研究－乳幼児を対象とした地域連携－	聴覚班	宇野 宏之祐	平成 30～ 令和 2 年度
	知的障害特別支援学級担当者サポートキットの開発－授業づくりを中心に－	知的班	涌井 恵	令和元～ 令和 2 年度
	小・中学校における肢体不自由のある児童生徒への指導及び支援のための地域資源を活用した授業改善に関する研究	肢体不自由班	吉川 知夫	令和元～ 令和 2 年度
	社会とのつながりを意識した発達障害等への専門性のある支援に関する研究－発達障害等の特性及び発達段階を踏まえての通級による指導の在り方に焦点を当てて－	発達・情緒班	海津 亜希子	令和元～ 令和 2 年度

詳しくはこちら→

NISE WEB サイト > 研究紹介
<https://www.nise.go.jp/nc/study>

… 地域実践研究 ……………

地域実践研究は、平成 28 年度より開始した新しい体系の研究です。地域や学校が直面する課題について、その解決を図るための実践的な研究を都道府県・指定都市教育委員会及び市町村教育委員会から派遣された地域実践研究員と共に地域と協働して推進します。

令和 2 年度に実施する地域実践研究の概要は以下のとおりです。

令和 2 年度 研究テーマ一覧（地域実践研究）

◆ メインテーマ 1：インクルーシブ教育システムの構築に向けた体制整備に関する研究

サブテーマ	研究チーム	研究代表者	研究期間
インクルーシブ教育システムの理解啓発の推進に関する研究	理解啓発チーム	久保山茂樹	令和 2 年度（単年度）
概要：共生社会の形成のためのインクルーシブ教育システムの構築には、全ての教師、子供、地域の理解が重要です。本研究では、10 県市と協働しながら、校内研修による授業等の改善、教育委員会等からの発信、子供たちへの障害理解授業の展開、地域の体制づくり等の実践的な検討を通して、インクルーシブ教育システムの理解啓発を推進するための方法を具体的に提言します。			

◆ メインテーマ 2：インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育に関する実際研究

サブテーマ	研究チーム	研究代表者	研究期間
交流及び共同学習の充実に関する研究	交流及び共同学習チーム	牧野 泰美	令和 2 年度（単年度）
概要：交流及び共同学習は、インクルーシブ教育システム構築に向けた基礎的環境整備に位置付けられるなど重要な教育活動です。本研究では、2 県市と協働しながら、地域のこれまでの取組を整理し、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の連携を進めることで、交流及び共同学習の充実を目指します。			

上記の研究の他に、平成 28 年度から取り組んだ研究について、「地域におけるインクルーシブ教育システム推進の成果と展望に関する研究」としてまとめます。



令和 2 年度の地域実践研究員（長期派遣型）



地域実践研究事業開始式の様子（WEB 活用）

外部資金研究

令和2年度に科研費により実施する研究課題は以下のとおりです。

令和2年度 科研費による研究課題一覧

研究種目	研究課題名	研究代表者	研究期間
基盤研究 (A)	通常学級における子ども・教師の多様性を包含する多層指導モデル実現への地域協働支援	海津亜希子	平成29～令和2年度
基盤研究 (B)	音声情報が付加された触読し易いUV点字による点字学習教材の製法確立と使用感評価	土井 幸輝	令和元～4年度
	多様な子どもの「学び方を自ら学ぶ」能力とプロセスのアセスメント法と支援法の開発	涌井 恵	令和2～4年度
	企業ニーズを踏まえた発達障害学生のキャリア意思決定を支える研修プログラムの開発	榎本 容子	令和2～5年度
	地域と連携・協働したペアレント・メンターの持続的活動を支える研修プログラムの開発	柳澤亜希子	令和2～6年度
基盤研究 (C)	メンター機能を活用した自閉症幼児の家族への早期支援プログラムの開発と効果評価	柳澤亜希子	平成28～令和2年度
	通常学級担任教師と他者との連携に関する研究：特別支援教育連携尺度の開発	竹村 洋子	平成29～令和2年度
	特別支援学校（肢体不自由）における意思決定論的アプローチに基づく授業開発研究	北川 貴章	平成30～令和2年度
	通級による指導における発達障害のある子どもへの自尊感情の支援に関する研究	伊藤 由美	平成30～令和2年度
	中学ことばの教室担当者の役割とあり方に関する研究－教室経営ガイドブックの作成－	滑川 典宏	平成30～令和2年度
	合理的配慮の提供と特別支援教育を推進するための高等学校校内研修プログラムの開発	大崎 博史	平成30～令和2年度
	教科等のねらいの達成を目指した交流及び共同学習の実践方法に関する開発研究	齊藤由美子	平成30～令和2年度
	特別支援学校（知的障害）における体育授業の現状及び充実に向けた実証的研究	村井敬太郎	平成30～令和3年度
	心の病気（適応の困難や発達障害の二次的障害含む）のある児童生徒への自立活動の提案	土屋 忠之	令和元～3年度
	共生社会の担い手を育む場としての幼稚園の役割	久保山茂樹	令和元～4年度
	吃音のある子どものレジリエンスの向上を目指した対話型教育実践プログラムの構築	牧野 泰美	令和2～4年度
	多様な障害種に対応した3Dプリンター教材データベースの構築と活用方法の研究	青木 高光	令和2～4年度
	算数指導に生かせるアイトラッキングを用いた新しい学習評価法の開発	玉木 宗久	令和2～4年度
	挑戦的研究（萌芽）	任意の硬さに調整可能な皮膚モデルの製作技術の確立と硬さ識別学習キットの開発	土井 幸輝
若手研究	デジタル教科書・教材のためのユーザビリティ技術基盤の確立	西村 崇宏	平成30～令和2年度
	特別支援学級担任の省察に基づく専門性の解明に関する基礎的研究	平沼 源志	令和元～3年度
	自閉スペクトラム症児への子育て支援における階層的支援システムの開発と評価	神山 努	令和元～3年度
研究活動スタート支援	我が国の将来的な労働力不足に対応するための障害者雇用の有用性に関する基礎的研究	宇野宏之祐	平成30～令和2年度

受託研究

令和2年度に実施する主な受託研究課題は以下のとおりです。

令和2年度 受託研究課題一覧

研究課題名	委託機関	研究代表者	研究期間
盲ろう幼児児童生徒の支援体制整備に関する開発的研究	一般財団法人ファーストリテイリング財団	星 祐子	令和元～2年度
魔法のプロジェクトを通じた特別支援教育のICT活用研究	ソフトバンク株式会社	青木 高光	令和2年度

… 刊行物による研究成果等の普及 ……………





NISE では、実施した研究における研究成果は研究成果報告書、サマリー集、ガイドブック、マニュアル等様々な形態で作成し、全て WEB サイトに掲載しています。これらの刊行物は毎年度作成することで、最新の研究成果をできる限り早く教育現場に普及できるようにしています。

研究成果報告書、書籍、リーフレット

NISE では、実施する研究課題が終了した時点で、その成果をまとめた「研究成果報告書」を研究課題ごとに作成し、WEB サイトにも掲載しています。

さらに、NISE の研究成果をよりわかりやすく知っていただくため、研究課題ごとの成果等を簡潔にまとめた「研究成果報告書サマリー集」を毎年度作成し、全国の教育関係機関等に送付するとともに、WEB サイトにも掲載しています。

また、研究成果の中で、教育現場での指導や支援等にすぐに役立つ情報については、活用しやすいようにリーフレット、ガイドブック、マニュアル等にまとめて、市販の書籍として発行しています。

研究成果報告書	視覚障害を伴う重複障害の児童生徒等の指導に関する研究 －特別支援学校（視覚障害）における指導を中心に－ 平成 31 年 3 月	
	精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的支援・配慮に関する研究 平成 31 年 3 月	
	研究成果報告書サマリー集（令和元年度終了課題） 令和 2 年 6 月	
書籍	「知的障害のある子どもと共に学ぶ」を考える－北欧の実践をふまえて (株)ジアース教育新社, ISBN978-4-86371-489-2 平成 31 年 1 月	
	小学校・中学校 通常の学級の先生のための手引き書 －通級による指導を通常の学級での指導に生かす－ (株)ジアース教育新社, ISBN978-4-86371-450-2 平成 30 年 2 月	
	育成を目指す資質・能力を踏まえた教育課程編成の在り方－アクティブラーニングを活用した各教科の目標・内容・方法・学習評価の一体化－ (株)ジアース教育新社, ISBN978-4-86371-446-5 平成 30 年 1 月	
リーフレット及び事例集	精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的支援・配慮に関する研究 －Co-MaMe(連続性のある多相的多階層支援)－ 令和 2 年 1 月	
	自閉症のある子どもの自立活動の指導について考えよう！ 令和 2 年 5 月	
	言語障害のある中学生の指導・支援の充実のために 令和 2 年 5 月	
	「我が国のインクルーシブ教育システム構築に関する総合的研究」調査報告 平成 29 年 12 月	
調査報告書	インクルーシブ教育場面における知的障害児の指導内容・方法の国際比較 －フィンランド、スウェーデンと日本の国際比較から－ https://www.nise.go.jp/nc/study/intro_res/joint 平成 30 年 3 月	
	障害者の生涯学習活動に関する実態調査 http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/7412/b-315.pdf 平成 30 年 3 月	

研究紀要

NISE では、特別支援教育に関する未発表の論文等を所内より募集し、内容審査を行った上で、「国立特別支援教育総合研究所研究紀要」として毎年度発表しています。研究紀要は、WEB サイトに掲載しています。

◆ 研究紀要第 47 巻（令和 2 年 3 月発行）の主な内容

- ①事例報告
 - ・ある自閉スペクトラム症児と教師との関係性形成の過程 –8か月間の記録から–
- ②調査資料
 - ・小・中学校に在籍する肢体不自由児の指導に関する担当教師の課題意識
- ③研究展望
 - ・我が国の小・中学校内における交流及び共同学習の展望についての一考察
～米国の最少制約環境（LRE: Least Restrictive Environment）施策の展開と多層的な支援システム（MTSS: Multi-Tiered Systems of Supports）の取組から示唆されるもの



特総研ジャーナル

NISE では、研究をはじめとする様々な活動の成果をまとめた「国立特別支援教育総合研究所ジャーナル（特総研ジャーナル）」を毎年度作成し、WEB サイトに掲載しています。

◆ 特総研ジャーナル第 9 号（令和 2 年 3 月発行）の主な内容

- ①令和元年度研究課題一覧
- ②令和元年度研究成果サマリー
- ③研究報告
 - ・精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的支援・配慮に関する研究（平成 29～30 年度）の成果の普及活動
 - ・知的障害特別支援学級の教育内容・方法等に関する全国調査報告
- ④国際会議・外国調査等の報告
- ⑤諸外国におけるインクルーシブ教育システムに関する動向
- ⑥学会等参加報告
- ⑦事業報告
- ⑧特別支援教育の動向
- ⑨N I S E トピックス

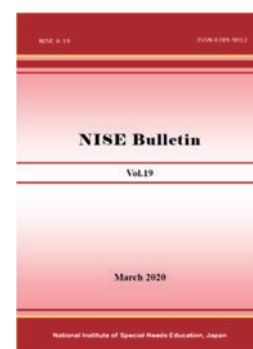


NISE Bulletin

NISE では、研究をはじめとする様々な活動の成果や日本の特別支援教育の政策動向等を英文でまとめた「NISE Bulletin」を毎年度作成し、WEB サイトに掲載しています。

◆ NISE Bulletin Vol.19（令和 2 年 3 月発行）の主な内容

- ・令和元年度研究課題の概要
- ・平成 30 年度研究成果サマリー
- ・国際シンポジウムの報告
- ・トピックス
- ・特別支援教育の動向
- ・国立特別支援教育総合研究所研究紀要第 46 巻の要旨



詳しくはこちら→

NISE WEB サイト > 報告書・資料

https://www.nise.go.jp/nc/report_material

NISEの研修事業

… 都道府県等における指導者の養成を目的とする研修の実施 ……………

NISE では、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、各都道府県等における特別支援教育政策や教育実践等の推進に寄与する指導者の養成を図るため、各都道府県等における障害種ごとの教育の中核となる教職員を対象とした専門的・技術的な研修及び各都道府県等における指導的立場にある教職員を対象とした特別支援教育政策上や教育現場等の喫緊の課題等に対応した専門的・技術的な研修として、以下の研修を実施しています。

令和2年度事業計画

名称		期間	募集人員
特別支援教育専門研修	第一期 視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース ・視覚障害教育専修プログラム ・聴覚障害教育専修プログラム ・肢体不自由教育専修プログラム ・病弱教育専修プログラム	令和2年 5月11日(月)～7月10日(金)	70名
	第二期 発達障害・情緒障害・言語障害教育コース ・発達障害・情緒障害教育専修プログラム ・言語障害教育専修プログラム	令和2年 9月9日(水)～11月13日(金)	70名
	第三期 知的障害教育コース ・知的障害教育専修プログラム	令和3年 1月6日(水)～3月12日(金)	70名
インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会・セミナー	特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会	令和2年 7月21日(火)～7月22日(水)	70名
	高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会	令和2年 9月2日(水)～9月4日(金)	100名
	交流及び共同学習推進指導者研究協議会	令和2年 11月19日(木)～11月20日(金)	70名
	発達障害教育実践セミナー	令和2年 12月3日(木)～12月4日(金)	70名程度
校長会との連携研修	特別支援学校寄宿舎指導実践協議会	令和2年7月17日(金)	60名程度
	特別支援学校「体育・スポーツ」実践指導者協議会	令和2年 11月26日(木)～11月27日(金)	50名程度

*「難聴児の切れ目ない支援体制構築と更なる支援の推進に向けた全国研修会」を令和2年12月に都内で開催予定

昭和46年のNISE創設と同時に研修事業を開始して以来、令和2年3月31日現在、特別支援教育専門研修の受講者数は9,838名*、その他の研修の受講者数も12,154名を数え、それぞれの課程を修了しています。これらの方々は、全国の学校や教育関係機関等で活躍されています。

※特別支援教育専門研修の前身である特殊教育中堅教員養成研修（短期研修）の修了者数を含んでいます。

詳しくはこちら→

NISE WEBサイト > 研修

https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar

… 幅広い教職員の資質向上に係る支援 ……………

NISE では、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、全ての学校種の教員について特別支援教育に関する知識・技能を身に付けることが求められていることから、幅広い教職員の資質向上を図る主体的な取組を支援するための事業を実施しています。

インターネットによる講義配信「NISE 学びラボ～特別支援教育 e ラーニング～」

NISE では、各都道府県等において障害のある児童生徒等の教育に携わる教員をはじめ、幅広い教職員の資質向上を図る主体的な取組を支援するため、インターネットによる講義配信を行っています。

講義内容は、以下の内容に区分され、130以上の講義コンテンツを配信しています。

- ・インクルーシブ教育システムの構築など特別支援教育全般の基礎理論や総合的・横断的な内容
- ・各障害種別の専門性（概論、教育課程、指導法等）に関する内容
- ・通常の学級における学びの困難さに応じた指導に関する内容

個人登録を行うことによって、全ての講義について、パソコンやタブレット端末、スマートフォン等から無料で視聴できます。また、団体登録を行った教育委員会や学校等は、受講者のニーズに合わせて研修プログラムを設定し、教職員等の研修に活用することができます。

講義配信コンテンツは、P27～P30「講義配信『NISE 学びラボ』コンテンツ一覧」をご覧ください。

詳しくはこちら→

NISE WEB サイト > インターネットによる講義配信 NISE 学びラボ
https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online

免許法認定通信教育

NISE では、特別支援学校教諭免許状取得率の向上に寄与することを目的として、特に免許状取得率の低い視覚障害教育領域及び聴覚障害教育領域について、教育職員免許法施行規則において第2欄に掲げる科目のインターネットによる免許法認定通信教育を開講しています。受講料は無料です。

◆ 令和2年度実施概要

[前期]

開設科目：視覚障害児の心理、生理及び病理（1単位）

聴覚障害児の心理、生理及び病理（1単位）

講習期間：令和2年4月27日（月）～令和2年8月7日（金）

単位認定試験日：令和2年8月29日（土）

受講定員数：各科目200名

[後期]（予定）

開設科目：視覚障害児の教育課程及び指導法（1単位）

聴覚障害児の教育課程及び指導法（1単位）

講習期間：令和2年9月1日（火）～令和2年12月11日（金）

単位認定試験日：令和2年12月26日（土）

受講定員数：各科目200名



お問い合わせ→

総務部研修情報課（資質向上支援係）

E-mail：a-shishitsu@nise.go.jp

NISEの情報収集・発信

… WEB サイト、展示会等を通じた情報発信 ……………

NISE では、特別支援教育全般に関する情報をはじめ、インクルーシブ教育システム構築に関する情報、発達障害に関する情報、教材や支援機器の実践事例等、様々なニーズに応じた形で WEB サイトを用意しており、特別支援教育の関係者はもちろん、一般の方を対象とした情報提供を行っています。

特別支援教育教材ポータルサイト（支援教材ポータル）

平成 25 年 8 月、文部科学省が設置した「障害のある児童生徒の教材の充実に関する検討会」による報告において、国等の役割として、「障害の状態や特性に応じた教材や支援機器、指導方法、活用事例等に関する全国レベルで情報交換するためのデータベースの作成」が示されました。

これを受けて、NISE では、教材・支援機器の活用に関する実践事例や関連情報を広く提供するために、「特別支援教育教材ポータルサイト」を、平成 27 年 3 月から運用しています。



◆ 支援教材ポータルのコンテンツ

【教材・支援機器検索】

【実践事例検索】

「教材・支援機器」と「実践事例」が相互に参照できるようになっています。

【教材・支援機器に関する情報】

【研修・展示会情報】

詳しくはこちら→

特別支援教育教材ポータルサイト

<http://kyozai.nise.go.jp/>

特別支援教育教材・支援機器等展示会

NISE では、支援機器等教材に関する研修会・展示会を研究所セミナー及び全国特別支援教育センター協議会において開催するとともに、教育委員会や教育センター等の協力を得て、地域における研修会・展示会を開催しています。

◆ 令和 2 年度地域における研修会・展示会開催予定及び協力機関

山形県教育センター（協力：山形県教育庁特別支援教育課）

山梨県総合教育センター（協力：山梨県総合教育センター）

長野県総合教育センター（協力：長野県総合教育センター）

宮崎県教育研修センター（協力：宮崎県教育研修センター）



詳しくはこちら→

支援教材ポータル > 研修会・展示会の様子

http://kyozai.nise.go.jp/?page_id=47

発達障害教育推進センターWEB サイト

発達障害教育推進センターは、全ての国民が発達障害を理解し、共に手を携える共生社会を目指した理解啓発を目的として、発達障害に関する様々な情報を収集・整理し、WEBサイト等を通じて広く情報普及活動に取り組んでいます。また、全国の教育関係機関や厚生労働省所管の国立障害者リハビリテーションセンター発達障害情報・支援センター等と連携した取組も進めています。

本センターのWEBサイトでは、以下のような情報を提供しています。それぞれの情報については、定期的に追加・更新を行い、新しい情報を発信しています。

◆ WEB サイトを通じて提供している情報の主な内容

<発達障害のある子供について>

- ・ 基本的な理解、対応や支援
- ・ 講義コンテンツ（※）
- ・ 教材・教具や支援機器
- ・ 研究の紹介
- ・ 施策や法令に関する情報
- ・ イベントや研修会等に関する情報



※コンテンツの一部は、YouTube でも 公開しています。

<https://www.youtube.com/user/NISEchannel>

詳しくはこちら→

発達障害教育推進センター WEB サイト

<http://cpedd.nise.go.jp/>

発達障害に関する地域での理解啓発事業

保護者と関係機関(教育、福祉等)が連携した、切れ目のない地域支援体制の構築を推進することを目的として、各地域のニーズに応じ、心理的疑似体験や展示等、地域住民の発達障害に関する理解を深める活動を、各自治体と協働で実施しています。

… 発達障害教育推進センター展示室 ……………

発達障害教育推進センター展示室では、発達障害に関する基本的な理解、対応や支援に関するパネル展示や参考図書の紹介、教材・教具や支援機器等を展示しています。

心理的疑似体験ができるコーナーもあります。



… 教育支援機器等展示室 [i ライブラリー] ……………

i ライブラリーは、障害のある子供一人一人の教育的ニーズに応じた支援を実現する様々な教育支援機器やソフトウェアの展示室です。

i ライブラリーでは、NISE が開発した教育支援機器やソフトウェアを展示するとともに、市販品についても障害種ごとに紹介しています。



詳しくはこちら→ **i ライブラリー WEB サイト**
<http://forum.nise.go.jp/ilibrary>

… 図書室 ……………

NISE の図書室では、特別支援教育に関する国内外の図書等を収集・整理・保存し、閲覧、文献複写等のサービスを行っています。

特別支援教育の専門書を中心とする図書約 80,000 冊、学術雑誌等の逐次刊行物約 2,000 種類のほか、全国の特別支援教育関係機関が発行する研究・実践報告書など約 30,000 冊の資料を所蔵し、これらの蔵書目録をインターネット上で公開しています。

NISE の図書室はどなたでも利用できます。ご利用の際は、電子メール又は FAX にて事前連絡をお願いします。

メール: a-tosho@nise.go.jp

FAX: 046-839-6939



特色ある所蔵資料

名称	内容
研修成果報告書	NISEが実施する特別支援教育専門研修の受講者が、修了時に約2ヶ月間の研修成果をまとめた研修レポートをはじめ、NISE創設以来の研修成果報告書を保管しています。
特別支援教育関係機関刊行物	文部科学省発行資料や、全国の特別支援教育関係機関が発行した研究・実践成果報告書等の刊行物を網羅的に収集し、保管しています。
辻村文庫	NISE初代所長である故・辻村泰男氏の旧蔵書のうち、ご遺族より寄贈していただいた特別支援教育関係資料約500冊を、「辻村文庫」として別置き、保管しています。

詳しくはこちら→ **NISE WEB サイト > 図書室の利用**
<https://www.nise.go.jp/nc/library>

… 情報発信・理解啓発のための活動 ……………

NISEでは、研究成果や集積した情報の発信を目的としてセミナーやシンポジウム、研究所公開等を毎年度開催しています。

また、関係する機関や学校等と共同でイベントを開催し、障害のある子供の教育に関する理解啓発に取り組んでいます。

研究所セミナー

NISEが蓄積してきた研究や情報収集をベースにした特別支援教育に関する情報提供とNISEの活動の紹介をしています。

期 日：令和3年2月26日（金）～2月27日（土）

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター
（東京都渋谷区）



世界自閉症啓発デー関連事業

世界自閉症啓発デー関連事業 世界自閉症啓発デーシンポジウム本部大会（令和2年度は中止）を共催するとともに、横須賀市において教育委員会や障害福祉課、筑波大学附属久里浜特別支援学校、保護者団体等と連携し、発達障害の理解啓発イベントを実施しています（令和2年度は未定）。

詳しくはこちら→

世界自閉症啓発デー公式サイト

<https://www.worldautismawarenessday.jp/htdocs/>

研究所公開

NISEにある情報普及のための施設を見学できます。

体験型の展示を通し研究成果等を紹介しています。

会 場：NISE



詳しくはこちら→

NISE WEB サイト > 研究所公開

https://www.nise.go.jp/nc/laboratory_release

自然災害等により、やむを得ず各事業を中止または変更させていただく場合があります。予めご了承ください。

インクルーシブ教育システム構築に向けた支援

… インクルーシブ教育システム推進センター ……………

平成 28 年 4 月、インクルーシブ教育システム構築に向けた地域や教育現場における取組を支援することを目的として、「インクルーシブ教育システム推進センター」を開設しました。

センターでは、地域が直面する課題に対応した研究（地域実践研究）の推進、国際的動向の把握や諸外国の最新情報の収集及び海外との研究交流、インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクル DB）の整備・情報提供を行っています。



地域実践研究推進プログラムにおける協議の様子

詳しくはこちら→

NISE WEB サイト > インクルーシブ教育システム推進センター
https://www.nise.go.jp/nc/about_nise/inclusive_center

… 地域実践研究（地域や学校の課題解決に資する研究） ……………

地域や学校が直面する課題を研究テーマに設定し、その解決を目指して、NISE の研究員と各教育委員会より派遣された地域実践研究員が協働して研究に取り組みます。1 年間の長期派遣型研究員制度に加え、平成 29 年度からは短期派遣型研究員制度、平成 30 年度からは市町村教育委員会からの派遣制度を設け、地域とのより一層緊密な連携協力関係をつくり、課題解決につなげるとともに、研究成果やインクルーシブ教育システムの最新情報を提供することで、地域の理解啓発を推進します。

◆ 地域実践研究テーマ一覧

	研究テーマ	
	メインテーマ 1	メインテーマ 2
	インクルーシブ教育システムの構築に向けた体制整備に関する研究	インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育に関する実際研究
平成 28・29 年度	地域におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する研究	交流及び共同学習の推進に関する研究
	インクルーシブ教育システムの構築に向けた研修に関する研究	教材教具の活用と評価に関する研究
平成 30・令和元 年度	教育相談・就学先決定に関する研究	多様な教育的ニーズに対応できる学校づくりに関する研究
	インクルーシブ教育システムの理解啓発に関する研究	学校における合理的配慮及び基礎的環境整備に関する研究
令和 2 年度	インクルーシブ教育システムの理解啓発の推進に関する研究	交流及び共同学習の充実に関する研究

… 地域実践研究の成果の普及と活用 ……………

◆ 地域実践研究フォーラム

地域実践研究に参加している都道府県・市において、地域実践研究の成果を速やかに普及し、インクルーシブ教育システム構築の推進に資することを目的として、「地域実践研究フォーラム」を開催しています。

令和元年度においては、以下の4県市5会場において開催しました。

- インクルーシブ教育システムの理解啓発に関する研究
青森県、埼玉県
- 多様な教育的ニーズに対応できる学校づくりに関する研究
静岡県（特別支援教育課）、横須賀市
- 学校における合理的配慮及び基礎環境整備に関する研究
静岡県（義務教育課）



埼玉県における地域実践研究フォーラムの



静岡県における地域実践研究フォーラムの様子

これらの地域実践研究フォーラムには、幼稚園、保育園、認定こども園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教職員、県教育委員会及び市町村教育委員会の職員、保護者など、800名程の方々（各フォーラム25～500名参加）が参加し、NISEや地域実践研究に対する期待や要望が寄せられました。

◆ 地域実践研究事業報告書

地域実践研究の研究成果は、「地域実践研究事業報告書」としてまとめ、国や都道府県・市町村教育委員会、学校等に広く提供しています。



平成28・29年度報告書



平成30年度報告書



令和元年度報告書



詳しくはこちら→

NISE WEB サイト > 地域実践研究事業

https://www.nise.go.jp/nc/about_nise/inclusive_center/region

… インクルーシブ教育システム普及セミナー ……………

地域におけるインクルーシブ教育システムの推進をバックアップすることを目的として、普及セミナーを開催しています。以下の地区で、開催地の教育委員会と共催し、各地域・学校における多様な取組や講演、インクルーシブ教育システム推進センターの活動報告等を通し、取組と知見を共有しました。

- 平成28年度 北海道（北海道・東北地区）
- 平成29年度 沖縄県（九州・沖縄地区）
岡山県（中国・四国地区）
- 平成30年度 奈良県（近畿地区）
- 令和元年度 静岡県（中部地区）

令和元年度は、静岡県立大学において、静岡県教育委員会との共催で、令和元年12月14日（土）に開催しました。県内外から幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員、教育委員会、医療・福祉機関の関係者、保護者、学生等、約150名の方々にご参加いただきました。

セミナープログラムは2部構成で、第1部は研究所の取組から、インクルーシブ教育システムに関するミニ講座、地域実践研究、国際動向について報告しました。第2部では、静岡県教育委員会から県の取組についての報告後、4つの分科会が開かれました。各分科会のテーマは以下のとおりです。それぞれのテーマに沿った学校や機関の充実した取組が報告され、参加者との間で協議が行われました。

- I-1 多様性の理解を組織的に進める校内体制
- I-2 障害のある人のキャリア発達と生涯学習支援
- II-1 中学校・高等学校における通級による指導
- II-2 小学校・高等学校における特別支援学校分校の共生・共育

今後、それぞれの地域や学校において、セミナーで得た情報をもとに取組が広がっていくことを期待しています。

令和2年度は、以下の開催を予定しています。

期 日：令和2年11月28日（土）

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

テーマ：国内外の取組から今後は展望する

国内における地域実践研究事業を始めとした地域や学校のさまざまな取組及び海外におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する施策や取組等から、我が国における今後の課題や展望を考えたいと思います。



静岡県で開催されたインクルーシブ教育システム普及セミナーの様子



セミナーにおけるインクル DB 紹介コーナー

… 諸外国の最新動向の把握や海外の機関との研究交流 ……………

◆ 諸外国の最新動向に関する情報収集と発信

NISE では、我が国の特別支援教育の取組や研究成果を海外に情報発信するとともに、国別調査班を組織し、特任研究員の協力により諸外国の障害のある子供の教育に関する政策等の状況を収集しています。その調査結果は、NISE 特別支援教育国際シンポジウムや小冊子「諸外国におけるインクルーシブ教育システムに関する動向」、特総研ジャーナル等を通じて公表しています。



小冊子「諸外国におけるインクルーシブ教育システムに関する動向」

◆ NISE 特別支援教育国際シンポジウムの開催

各国のインクルーシブ教育システムに関する施策や教育実践について見聞を広め、日本の教育実践についても振り返り、今後の我が国のインクルーシブ教育システム推進の方向性を考える機会として国際シンポジウムを開催しています。



国際シンポジウムにおけるディスカッション

【 NISE 特別支援教育国際シンポジウムテーマ 】

第1回（平成28年）「各国のインクルーシブ教育システムの構築の取組の現状と課題」

第2回（平成29年）「発達障害教育について学ぶーアメリカ、イギリスの教育実践から学ぶー」

第3回（平成30年）「インクルーシブ教育システムの推進ー日英の取組の現状から、今後を展望するー」

第4回（平成31年）「障害のある子どもと障害のない子どもの交流をめざしてー日韓の取組から今後のインクルーシブ教育システム推進を展望するー」

第5回（令和2年）「子どもの学習のつまずきに速やかに対応する取組ーフィンランドの教育実践から今後を展望するー」



韓国国立特殊教育院との覚書署名式（令和元年度）

◆ 海外の研究機関等との交流

海外の研究機関等と交流協定を締結し、研究職員の派遣や海外からの研究者等の招聘等、特別支援教育やインクルーシブ教育システムに関する情報交換や研究者間の交流を行っています。令和元年度は、韓国国立特殊教育院主催の「特殊教育対象の子どものための教育実践に関する国際比較分析」研究に参加しました。

【 研究交流協定締結機関 】

韓国国立特殊教育院（平成7年11月締結、令和元年7月再締結）

ケルン大学人間科学部（平成10年11月締結）

フランス国立特別支援教育高等研究所（平成27年3月締結）

◆ 研究職員の海外派遣や海外の研究者等の受入

国際会議への参加・発表やインクルーシブ教育システムに関する状況調査等のため、研究職員を海外に派遣し、研究交流を行っています。また、独立行政法人国際協力機構（JICA）等の依頼により、海外の教育行政担当者や学校教員等の視察・研修を受け入れています。

令和元年度 研究職員の海外派遣者数：13名 外国人研究者等の受入数：22カ国 124名

… インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクル DB） …

平成 24 年 7 月、中央教育審議会初等中等教育分科会において、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」が報告されました。

これを受けて、NISE では、インクルーシブ教育システム構築に関連する様々な情報を広く提供するために、「インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクル DB）」を、平成 25 年 11 月から運用しています。インクル DB は、子供の実態から、どのような基礎的環境整備や合理的配慮が有効かについて、参考となる事例を掲載しています。

また、各地域で開催される普及セミナーや本研究所セミナー等で「インクル DB 体験コーナー」を設け、検索の仕方や掲載事例等を紹介しています。

◆ インクル DB のコンテンツ

【合理的配慮実践事例データベース】

文部科学省の委託事業「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」及び「発達障害の可能性のある児童生徒の多様な特性に応じた合理的配慮研究事業」において取り組まれた実践事例について掲載しています。

実践事例データベースは I、II に分かれており、データベース II は、閲覧いただく方の利便性を考え、A4 2 ページにまとめています。

令和 2 年 4 月 1 日現在、472 件の実践事例を掲載しています。

【インクル DB を活用した研修例】

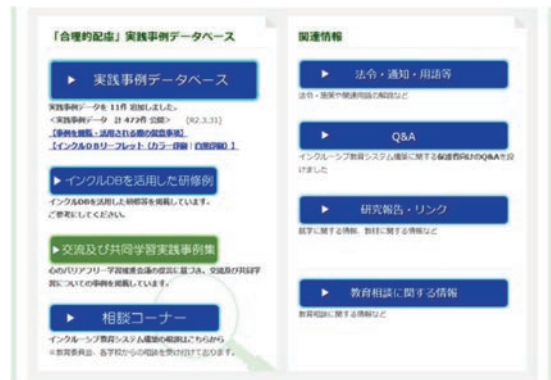
インクル DB を活用した研修プログラム案や実際に行われた研修や授業等を紹介しています。

【交流及び共同学習実践事例集】

心のバリアフリー学習推進会議の提言に基づき、交流及び共同学習についての関連情報や事例を掲載しています。

【関連情報】

- ・ 障害者の権利に関する条約への対応
- ・ 関連する法令・施策
- ・ 関係用語の解説
- ・ Q&A
- ・ その他関連情報



詳しくはこちら→

インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクル DB）
<https://inclusive.nise.go.jp/>

… インクル DB の活用に関する相談支援 …

NISE では、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、都道府県・市町村・学校が直面する課題解決を支援するため、各都道府県・市町村・学校からのインクル DB の活用に関する相談に応じています。

関係機関等との連携・協力

… 全国の教育委員会、園・学校、関係団体等との連携・協力 ……………

NISE では、全国の教育委員会、特別支援教育センター、園・学校関係者等を研究協力機関・協力者として原則公募により依頼し、研究課題等に関する情報・資料提供、指導・助言、共同開発・研究、開発した指導法・試作の実践、教材開発等の協力を得ることにより、実際の・実践的な研究の円滑な推進を図っています。

また、関係学校長会等が実施する調査研究への協力を行うほか、全国特別支援教育推進連盟と連携・協力し、文部科学省と三者共催で全国特別支援教育振興協議会を開催しています。



全国特別支援教育センター協議会の様子

さらに、全国の都道府県・政令指定都市立教育センターが加入する全国特別支援教育センター協議会と連携して、各センターの機能向上のため、教育相談、教員研修、調査研究、管理運営の4つの分野の研究協議会を年1回、開催しています。

… 日本人学校等への支援 ……………

NISE では、日本人学校及び補習授業校に対して、特別支援教育に関する情報提供を行っています。また、日本人学校への訪問支援やメールによる相談支援を実施しています。

さらに、文部科学省と連携して日本人学校における特別支援教育の状況調査を実施し、在外教育施設に赴任する教員の研修会等において、情報提供を行っています。

令和元年度からは文部科学省の委託事業を受け、在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業の1つである「日本人学校における特別支援教育に関する遠隔指導の実施に向けた実践的研究」に取り組んでいます。

… 筑波大学附属久里浜特別支援学校との相互協力 ……………

筑波大学附属久里浜特別支援学校は、昭和48年9月に、国立特殊教育総合研究所（当時）が行う実践的な研究に協力する目的で、重度・重複障害児を対象に教育を行う学校として設置された国立久里浜養護学校を母体としています。その後、平成16年4月1日の国立大学等の法人化に伴い、筑波大学に移管され、知的障害を併せ有する自閉症児を対象に教育を行う、幼稚部及び小学部を置く学校として再出発しました。

同校では、自閉症のある幼児児童に対して、幼稚園及び小学校に準ずる教育を行うとともに、障害による困難を改善するための教育を行っています。また、筑波大学における幼児児童の教育に関する研究や、学生の教育実習の協力等が進められています。



筑波大学附属久里浜特別支援学校

なお、平成16年7月、NISEと筑波大学との間で教育研究交流に係る協定を締結し、NISEと同校は相互協力の下に様々な取組を推進しています。

詳しくはこちら→

筑波大学附属久里浜特別支援学校 WEB サイト
<http://www.kurihama.tsukuba.ac.jp/>

講義配信「NISE学びラボ」コンテンツ一覧

「特別支援教育全般」一覧

令和2年5月25日現在

コース	コンテンツ名
インクルーシブ教育システム関連	共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築
	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（1） 障害児教育の歴史
	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（2） 特別支援教育の理念と基本的な考え方
	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（3） 学習指導要領と教育課程
	特別支援教育におけるＩＣＦの活用
	特別支援教育における教材・教具の活用
	特別支援教育におけるＩＣＴの活用
	特別支援教育におけるカウンセリング技法
	インクルーシブ教育システムにおける交流及び共同学習
	「個別の指導計画」の作成と活用
	インクルーシブ教育システムの構築
	インクルーシブ教育システムにおける専門性と研修
	特別支援学校の地域におけるセンター的機能
	障害のある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援
	合理的配慮と基礎的環境整備
特別支援教育の視点を生かした学校経営	
各学びの場における教育	多様な学びの場（1） 特別支援学校の教育
	多様な学びの場（2） 小学校・中学校等
	「通級による指導」の成立とその意義
幼児期における教育	幼児期における特別支援教育の考え方
	幼児期の具体的な関わり方の実際
	幼児期の関係機関との連携
	幼児期の子どもをもつ保護者とのかかわり
高等学校における教育	高等学校に求められる合理的配慮と基礎的環境整備
	高等学校における校内支援体制づくり（1）
	高等学校における校内支援体制づくり（2）
	高等学校における特別な配慮を要する生徒への進路指導
	高等学校における特別支援教育に関する研修及び授業研究の進め方
	高等学校段階（思春期）における障害のある生徒の心理と自己理解
役割と連携	小学校・中学校管理職のための特別支援学級における教育課程編成
	特別支援教育コーディネーター―役割と活動を中心に―
	教育と福祉・医療等との連携
発達、生理・病理、諸検査等	医学的理解―行動上の問題・てんかん―
	小・中学校に在籍する健康面への配慮が必要な児童生徒の理解
	発生期、胎生期及び周産期における障害

「特別支援教育全般」一覧（つづき）

令和2年5月25日現在

コース	コンテンツ名
発達、生理・ 病理、諸検査等	中枢神経系における障害
	主な検査の種類と方法及び留意事項－発達検査法と知能検査法－
	検査の意義とアセスメント－アセスメントの目的と意義－
	視覚検査法
	聴覚検査法

「障害種別の専門性」一覧

令和2年5月25日現在

コース	コンテンツ名
視覚障害	視覚障害の特性と教育課程
	視覚障害教育における教科等の指導とキャリア教育・職業教育
	視覚障害教育における情報機器等の活用
	視覚障害教育における自立活動
	視覚に障害のある子どもにおける触覚活用
	視覚障害教育における教科指導法－国語の指導－
	視覚障害児の認知と指導
	弱視学級における指導と学習支援
	弱視用視覚補助具概論－弱視レンズの選定と指導－
聴覚障害	きこえの仕組みと検査・補聴機器
	聴覚障害児のコミュニケーション
	聴覚障害児への教育的支援
	聴覚障害教育概論
	聴覚障害乳幼児の療育と指導
	手話の活用
	聴覚機能の理解と指導
	特別支援学校（聴覚障害）における進路指導・職業教育
	聴覚障害児の自己理解と教育
知的障害	知的障害の理解と教育的対応の基本
	知的障害教育における教育課程の編成
	各教科等における指導の工夫
	障害のある児童生徒のキャリア教育
	知的障害教育における自立活動の指導
	知的障害教育における領域・教科を合わせた指導
	知的障害教育の教育課程の歴史
肢体不自由	肢体不自由の定義と障害特性
	肢体不自由教育における教育課程

「障害種別の専門性」一覧（つづき）

令和2年5月25日現在

コース	コンテンツ名
肢体不自由	肢体不自由教育の実際その1
	肢体不自由教育の実際その2
	肢体不自由のある子どもへのAAC
	自立活動の指導－指導計画の作成－
	肢体不自由教育におけるICFの活用
	肢体不自由教育の歴史
	小・中学校肢体不自由特別支援学級での指導等に関する実態
病弱・身体虚弱	病弱・身体虚弱教育の特性と教育課程
	病弱・身体虚弱教育における指導の実際その1
	病弱・身体虚弱教育における指導の実際その2
	子どもの身体発育と運動発達
	関係性の障害とその対応
	病弱教育の歴史
	慢性疾患の理解
言語	言語障害とその教育－言語障害の定義・特性・分類－
	言語障害のある児童生徒の理解と指導1－構音障害・吃音障害－
	言語障害のある児童生徒の理解と指導2－言語機能の基礎的事項の発達の遅れや偏りに関する障害－
	構音障害の理解と指導
	吃音の理解と対応
	口唇口蓋裂の医療
	言語障害教育の現状と課題
	ことばの遅れをめぐって
情緒障害	情緒障害教育概論
	自閉症教育概論
	選択性かん黙等の心理的要因が関与する児童生徒の理解と指導
	情緒障害のある児童生徒の指導と対応
	定義と判断
	学校における気づきと実態把握
	特性の理解
	特性に応じた指導
	個別の指導計画の作成と活用
	校内支援体制の構築
	自閉症のある児童生徒の自立活動の指導
	自閉症のある児童生徒の家族支援
	自閉症のある子どもの教育課程

「障害種別の専門性」一覧（つづき）

令和2年5月25日現在

コース	コンテンツ名
情緒障害	自閉症のある子どもの実態把握
	通常の学級における自閉症スペクトラム障害（ASD）のある児童生徒の指導の対応
	自閉症のある子どものためのソーシャルスキル指導
	ADHDのある子どもの理解と対応
	発達障害のある子どもの思春期（前半）
	発達障害のある子どもの思春期（後半）
	幼児期の発達障害
	LDのある子どもの理解と対応
	アセスメントの目的と活用
	発達障害のある子どもの通常の学級における支援
	発達障害のある子どもの通級による指導
重複	重複障害の概念と教育課程
	医療的ケアを必要とする子どもへの対応
	訪問教育における指導
	重複障害のある児童生徒の実態把握と指導の基本的観点
	重複障害のある子どものコミュニケーション
	盲ろうの子どもたちの理解と指導
	重複障害のある子どもとのコミュニケーションを支える環境づくり
	特別支援教育における重複障害教育の現状と課題
	重度・重複障害者の卒後の支援
	盲ろうの子どもたちの指導の実際
	手厚い支援を必要としている子どもが主体となる教育計画と実践

「通常の学級における学びの困難さに応じた指導」一覧

令和2年5月25日現在

コース	コンテンツ名
概論	学習指導要領にみる特別支援教育
	教育課程の連続性と個に応じた指導の充実
小学校階段	小学校国語
	小学校理科
	小学校家庭
	小学校体育
	小学校総合的な学習の時間

最新の研究成果物リスト (研究成果報告書以外)

(令和2年5月31日現在)

NISEの近年の研究成果を教育現場に還元するために、研究成果報告書以外の研究成果物をリストにして提供します。都道府県教育委員会や教育センターの各担当者等が研修会や研究協議会を企画・実施する際に、こうした研究成果物を活用してもらえらるよう
に今後、NISEのホームページでも情報提供していきます。

1. 書籍

知的障害	「知的障害のある子どもと共に学ぶ」を考えるー北欧の実践をふまえてー (株)ジアース教育新社, ISBN978-4-86371-489-2 平成31年1月
教育課程	小学校・中学校 通常の学級の先生のための手引き書ー通級による指導を通常の学級での指導に生かすー (株)ジアース教育新社, ISBN978-4-86371-450-2 平成30年2月
知的障害	育成を目指す資質・能力を踏まえた教育課程編成の在り方ーアクティブラーニングを活用した各教科の目標・ 内容・方法・学習評価の一体化ー (株)ジアース教育新社, ISBN978-4-86371-446-5 平成30年1月
インクル関連	インクルーシブ教育システム構築に向けた地域における体制づくりのグランドデザインー文部科学省モデル事 業等の実践を通じてー (株)東洋館出版社, ISBN978-4-491-03374-7 平成29年7月
インクル関連	インクルーシブ教育システム構築のための学校における体制づくりのガイドブックー全ての教員で取り組むた めにー (株)東洋館出版社, ISBN978-4-491-03373-0 平成29年7月
病弱	病気の子どもの教育支援ガイド (株)ジアース教育新社, ISBN978-4-86371-406-9 C3037 平成29年3月
重複障害	手厚い支援を必要としている子どものための情報パッケージ「ぱれっと (PALETTE)」ー子どもが主体となる教 育計画と実践をめざしてー (株)ジアース教育新社, ISBN978-4-86371-372-7 平成28年9月
知的障害	育成を目指す資質・能力をはぐくむための知的障害教育における学習評価の実践ガイドー学習評価の9実践事 例を踏まえてー (株)ジアース教育新社, ISBN978-4-86371-384-0 C3037 平成28年9月
肢体不自由	特別支援学校(肢体不自由)におけるアシティブ・テクノロジー活用のためのガイドー組織的な取組の促進をめ ざしてー (株)ジアース教育新社, ISBN978-4-86371-286-7 平成26年11月
インクル関連	すべての教員のためのインクルーシブ教育システム構築研修ガイド (株)ジアース教育新社, ISBN978-4-86371-249-2 平成26年1月
インクル関連	共に学び合うインクルーシブ教育システム構築に向けた児童生徒への配慮・指導事例ー小・中学校で学習してい る障害のある児童生徒の12事例ー (株)ジアース教育新社, ISBN978-4-86371-250-8 平成26年1月

2. リーフレット

病弱	精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的支援・配慮に関する研究 ー Co-MaMe(連続性のある多相的多階層支援)ー https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/leaflet 令和2年1月
インクル関連	我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究ーインクルーシブ教育システムを 推進するための地域や学校等の主体的な取組を支援します インクル COMPASSー https://www.nise.go.jp/nc/wysiwyg/file/download/1/3650 令和2年2月
インクル関連	「我が国のインクルーシブ教育システム構築に関する総合的研究」調査報告 https://www.nise.go.jp/nc/wysiwyg/file/download/1/1655 平成29年12月
教育課程	通常の学級と通級による指導の学びの連続性に焦点を当てて 平成30年3月 https://www.nise.go.jp/nc/wysiwyg/file/download/1/1716
自閉症	自閉症のある子どもの自立活動の指導について考えよう! https://www.nise.go.jp/nc/study/intro_res/group_basic/n04 令和2年5月
自閉症	特別支援学校(知的障害)に在籍する自閉症のある幼児児童生徒の実態の把握と指導に関する研究 ー特別支援学校(知的障害)での自閉症教育の取組に関する調査(速報)ー http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/7412/b_309.pdf 平成29年3月
言語障害	言語障害のある中学生の指導・支援の充実のために https://www.nise.go.jp/nc/wysiwyg/file/download/1/4046 令和2年5月
重複障害	みなさまの身近に視覚と聴覚の両方に障害のある「盲ろう」のお子さんはいらっしゃいませんか? http://www.nise.go.jp/cms/news/detail.8.12961.html 平成29年2月
ICT・AT	特別支援教育でICTを活用しよう http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/12589/20161205-143141.pdf 平成28年11月

3. ガイドブック・事例集

発達情緒	高等学校教員のための「通級による指導」ガイドブック 基幹研究【発達障害等のある生徒の実態に応じた高等学校における通級による指導の在り方に関する研究－導入段階における課題の検討－】 https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/specialized_research 平成 30 年 3 月
インクル関連	地域におけるインクルーシブ教育システムの推進 https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/specialized_research 平成 30 年 6 月
聴覚障害	聴覚障害教育 指導実践事例集 http://inclusive.nise.go.jp/?page_id=106 平成 30 年 3 月
教育課程	小学校・中学校管理職のための特別支援学級の教育課程編成ガイドブック－試案－ http://www.nise.go.jp/cms/7,11519,32,142.html 平成 28 年 3 月
聴覚障害	聴覚障害教育 Q&A ～聴覚に障害のある子どもの指導・支援～ http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/11539/20160414-215751.pdf 平成 28 年 3 月
視覚障害	視覚障害教育用触察立体教材作成のための 3D プリンター活用ガイドブック http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/10825/20150916-154900.pdf 平成 27 年 3 月
言語障害	「ことばの教室」ことはじめ http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/10478/20150514-180955.pdf 平成 27 年 3 月
病弱	病弱教育支援冊子 http://www.nise.go.jp/portal/elearn/shiryou/byoujyaku/supportbooklet.html 平成 24 年 12 月
聴覚障害	軽度・中等度難聴児の指導・支援のために－軽度・中等度難聴児をはじめて担当される先生へ http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/126/b-270.pdf 平成 24 年 3 月

4. ガイドライン

ICT・AT	デジタル教科書ガイドライン http://www.nise.go.jp/cms/7,9717,32,142.html 平成 24 年度～25 年度 専門研究 A 研究成果報告書「デジタル教科書・教材の試作を通じたガイドラインの検証－アクセシブルなデジタル教科書を目指して」21～22 頁 平成 26 年 3 月
--------	---

5. 調査報告書

知的障害	インクルーシブ教育場面における知的障害児の指導内容・方法の国際比較－フィンランド、スウェーデンと日本の国際比較から－ https://www.nise.go.jp/nc/study/intro_res/joint 平成 30 年 3 月
生涯学習	障害者の生涯学習活動に関する実態調査 http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/7412/b-315.pdf 平成 30 年 3 月
インクル関連	インクルーシブ教育システム構築の現状に関する調査報告書 http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/14210/00.B_314_all.pdf 平成 29 年 12 月
言語障害	全国難聴・言語障害学級及び通級指導教室実態調査 http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/13964/b-312zentai.pdf 平成 29 年 9 月
肢体不自由	全国小・中学校肢体不自由特別支援学級での指導等に関する調査 http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/7412/20160307-190827.pdf 平成 28 年 1 月
教育課程	特別支援学校における教育課程の評価の現状と課題に関する調査 http://www.nise.go.jp/cms/7,11274,32,142.html 平成 27 年 10 月
自閉症	自閉症・情緒障害特別支援学級及び知的障害特別支援学級に在籍する自閉症のある児童生徒の自立活動の指導に関する調査 http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/7412/20151020-175959.pdf 平成 27 年 10 月

NISEの財務・施設

… 予算・決算 …

令和2年度 予算額

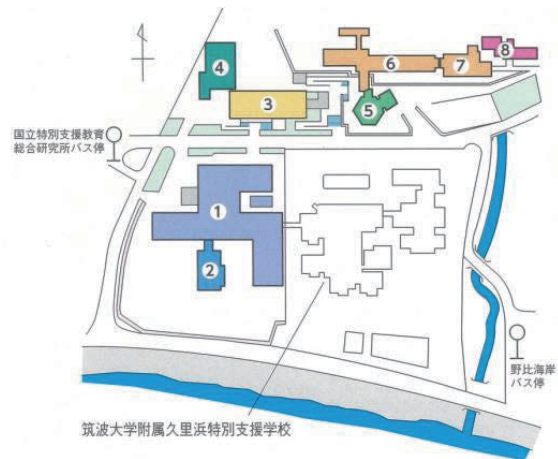
区分	金額 (千円)
運営費交付金	1,102,796
施設整備費補助金	0
自己収入	4,872
合計	1,107,668

平成30年度 決算額

区分	金額 (千円)	
運営費事業	人件費	688,171
	物件費	238,225
施設整備費	31,469	
寄附金	1,672	
受託事業等 (間接経費含む)	12,960	
合計	972,497	

… 建物 …

①研究管理棟
②特別支援教育情報センター棟
③研修棟
④体育館
⑤食堂棟
⑥西研修員宿泊棟
⑦東研修員宿泊棟
⑧生活支援研究棟



… 寄附のお願い …

NISEの業務は、主として国からの運営費交付金等によって賄われておりますが、障害のある子供の教育のより一層の振興を図るため、広く皆様方からの寄附金を受入れています。

NISEの活動に御理解をいただき、皆様方からの御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今後とも我が国の特別支援教育の振興・充実に努めてまいりますので、何とぞ御理解・御協力を重ねてお願いいたします。
詳しくはこちら：<https://www.nise.go.jp/nc/donation>

… 体育施設のご利用案内 …

体育館やフットサルコートをご利用いただけます。

<ご利用可能時間>

体育館：9時～19時

フットサルコート：9時～17時

土曜・日曜・祝祭日もご利用いただけます。



詳しくはこちら：https://www.nise.go.jp/nc/physical_education



連絡先・交通案内

… 連絡先 ……………

名称：独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
 住所：〒239-8585 神奈川県横須賀市野比 5-1-1

	電話番号	FAX 番号	E-mail アドレス
総務企画課	046 (839) 6803	046 (839) 6918	somu@nise.go.jp
財務課	046 (839) 6818	046 (839) 6916	
研修情報課	046 (839) 6895	046 (839) 6915	

… 交通案内 ……………

● 京浜急行電鉄ご利用の場合

京急久里浜駅下車

久3 系統・久里浜医療センター行で約 15 分、国立特別支援教育総合研究所下車すぐ

久8 系統・野比海岸行で約 20 分、終点下車 300m

又はタクシー約 8 分

YRP 野比駅下車

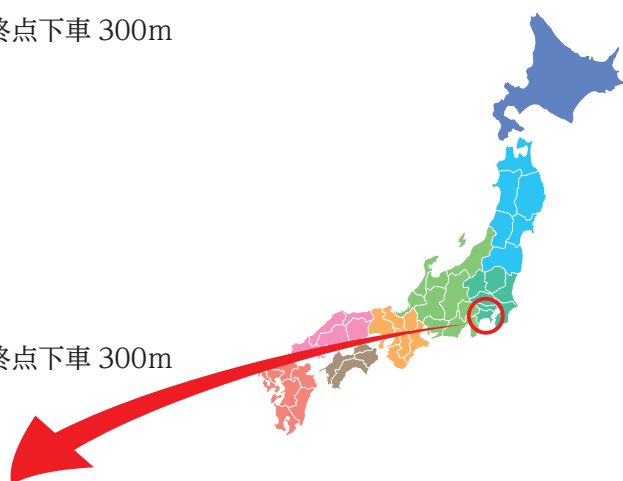
徒歩 20 分、又はタクシー約 5 分

● JR 横須賀線ご利用の場合

久里浜駅下車

久8 系統・野比海岸行で約 15 分、終点下車 300m

又はタクシー約 10 分



交通案内図



周辺図





NISE ロゴマークデザイン

春になると力強く芽吹く若葉。そのイメージである瑞々しさ、若々しさ、力強さを、特別支援教育のイメージと重ね合わせました。ロゴマークの上に配した丸い形は「障害のある子どもたちや保護者」を、その下に配した左の若葉は「NISE」を、右の若葉は「特別支援学校、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教育機関や医療・福祉・労働等関係諸機関」を表しています。二つの若葉は、お互いに連携・協力しながら、障害のある子どもたちや保護者を支えています。



NISE「子どもとともに」モニュメント



独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所

National Institute of Special Needs Education, Japan

〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1

TEL 046-839-6803 FAX 046-839-6918

<https://www.nise.go.jp/nc/>

✉ NISEメールマガジン



https://www.nise.go.jp/nc/about_nise/mail_mag

この要覧で紹介した研究成果報告書、インターネットによる講義配信「NISE学びラボ」、特総研ジャーナル、発達障害教育推進センター、研究所公開、研究所セミナー、インクルDBなどの詳しい内容は **NISE** でまとめて検索できます！